



進路だより

令和7年10月10日【臨時号】

東京都立八王子南特別支援学校

校長 濱辺 清

発行 進路指導部

日頃より本校の教育活動へ御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

1学期には両科の2年生が、八王子南特別支援学校として初めての現場実習を行うことができました。生徒たちはそれぞれの実習先へ向かい、仕事の体験を積み重ねましたが、現場実習に参加した全員が等しく緊張感をもって取り組んでいた様子が印象的でした。

現場実習受け入れ先からの評価や助言、それを受けた本校の方向性などについて、9月5日に行われた第2回学校運営連絡協議会にて報告をさせていただきましたが、全校の保護者の皆様にも共有させていただきたいと思い、臨時号を発行することとしました。

御確認いただき、次回の現場実習の御参考にしていただければと思います。

(1) 普通科現場実習について ＊2～5日間の設定で実施

- 【内訳】
- ・生活介護事業所 3名 (3日間実施)
 - ・就労継続支援A型事業所 1名 (5日間実施)
 - ・就労継続支援B型事業所 8名 (1名2日間、7名3日間)
 - ・企業 3名 (5日間実施)

なお企業の内訳は、「事務・軽作業」2名、「物流」1名。

【福祉事業所実習について】

- ・生活介護やB型事業所における実習では、居住地域からの通所を想定した実習を設定した。
- ・B型事業所については、自主通所が求められるため、一人で「公共交通機関」を利用する力が必要不可欠となる。
➡「一人で通える」という経験は、生徒の自信になり、将来の進路選択の幅を広げていくことにつながる。

【企業実習について】

- ・企業実習を経験した生徒においては、本人や保護者の希望を踏まえ、職種・職場環境などを総合的に検討し実習先を設定した。また、生徒の実態に合わせた「ねらい」を実習先や生徒・保護者と確認し、実施した。
 - ・実習先からは課題として、以下の御指摘をいただいた。
 - ①就労への意欲
 - ②コミュニケーション（自分からの発信）や、指示通りに作業を遂行する力など、基本的な就労態度
- ➡引き続き御家庭と連携し、「就労準備性」の向上を目指して取り組んでいきたい。



(2) 職能開発科現場実習について ＊3～9日間の設定で実施。

- 【内訳】 ・物流 7名
・食品（厨房・製造・カフェ）6名
・事務 3名
・清掃 4名

【実習の職種に関して】

- ・専門教科コースに関する職種を中心に実施した。

【実習評価について】

- ・主に「社会生活能力」「対人関係」「作業面」の3領域において評価をいただいた。



①社会生活能力について

- ・実習中は、ほぼ全員が予定された日程通り行うことができた。また、遅刻や早退はなかった。
- ・休憩時間と業務時間の切り替えがスムーズにいかない生徒もいた。

②対人関係について

- ・敬語などの言葉遣いや、気持ちの良いあいさつができるなどの評価をいただいた生徒が多かった。
- ・周囲と協力しながら業務を進めることができると評価された生徒も多かった。

③作業面について

- ・この領域で評価が高い生徒は、社会生活能力・対人関係においても高い評価の傾向にあった。

➡「〇〇ができるなら、△△もできているだろう」と、実際の力量以上の評価をいただけてしまう可能性があるため、慎重に受け止めることが必要と考える。
しかし作業能力が高くとも、「①社会生活能力・②対人関係」の評価が低い場合は、就労に結び付かなくなることが増えるため、まずは「①社会生活能力・②対人関係」の向上に向けて、御家庭と連携して進めていきたい。

(3) 今後に向けて

【御家庭へのお願い】

- ①学校と課題の共有化から、家庭の場面で取り組むことができる家事などにおいて、役割を担い、取り組む経験を積み重ねてください。
- ②企業就労に限らず、生活介護やB型事業所でも「毎日通うことができる力」が求められる場合が多く見られます。その目標を達成するためには学校へ通う習慣を身に付ける必要があることから、時には「背中を押す」ことも目標とする進路先に向かうためには必要であると考えています。
- ③B型事業所など就労型の障害福祉サービス事業所では、基本的に送迎サービスはありません（一部の事業所は実施しているが、限りなく少ない）。そのため、在学中から一人で通所できる力を付けることが、事業所からは求められています。そこで日頃から公共交通機関の利用を目指し、利用ができるようになることで選択肢は増加します。
このことは一般企業においても同様で、多摩地域では少ないとされている職種は都心に行くで見つかることがあります。そのため、通勤範囲が広がることは就労の可能性が広がることにつながると、お伝えさせていただきます。

御不明な点等がございましたら、いつでも進路指導担当教員にお尋ねください。どうぞよろしくお願いいたします。